

## 火気を使用する屋台等における防火安全対策について

森町消防本部 予防課

イベントの会場には、大勢の皆さんが訪れ、混雑が予想されます。そういう場所で万一火災やガス漏れが発生しては大変です。また、会場は公共の場であり私有地ではありませんので、そこで火を使用する場合には、一定のルールを守ることが求められます。出店者一人ひとりが十分に注意してルールを守り、安全なイベントとなりますようご協力をお願いいたします。

### 1 ポータブル発電機の使用上の注意

- (1) 酸欠と不完全燃焼の防止のため、換気の良い場所に置いてください。
- (2) 排気部分は、高温になるので可燃物から十分な距離を確保してください。
- (3) 予備燃料は、**必要最小限とし、金属製の携行缶に入れて常に監視できる場所に置いてください。**
- (4) 燃料の補給時には、**必ず運転を停止してください。また、くわえタバコでの作業は、絶対にしないでください。**



### 2 ガソリン携行缶の使用上の注意

- (1) 給油・使用時は、火気や引火物のない風通しのよい環境で行ってください。
- (2) 運搬・保管時は、**直射日光や高温環境を避けてください。**
- (3) ガソリンはマイナス40度以下でも気化する性質があり、内圧で吹き出す場合があるため、開栓時は十分に注意してください。その際、**必ずエア調整ネジを緩め、缶内の圧力を調整してから開栓してください。**
- (4) 静電気による引火の可能性を下げるために、開栓の直前に本体を接地させることが望ましい。

- (5) 錆び、変形、栓や空気穴のパッキンの劣化、その他の破損が見られる携行缶はガスソリンが漏れるおそれがあるため使用しないでください。

### 3 ガス機器の使用上の注意

- (1) 火を使っているときは、絶対にその場を離れないでください。
- (2) 天ぷら油は、油の量が少ないと温度上昇が早く出火しやすくなります。
- (3) 着衣着火に注意しましょう。火の周囲は、高温になり非常に危険です。
- (4) ガス機器の周囲には、布巾、調理用油、プラスチック容器などの可燃物を置かないでください。
- (5) ガスコンロと壁は、15cm以上離してください。**壁になる部分がテント等の動きやすいものである場合は、さらに距離をとるか防熱板などによって遮へいしてください。**
- (6) 屋外又は外気の流通する場所に設置する場合は、風による種火の立ち消えに注意してください。また、閉店する際には、種火もきちんと消して元栓を閉鎖してください。

### 4 炭火の使用上の注意

- (1) 着火剤による事故が発生しています。着火剤は、点火時以外には、使用しないでください。
- (2) 消火は、水を使って完全消火をしてください。
- (3) 通風の良い状態で使用し、煙が滞留しないよう注意してください。

※ ほんの些細なことでも原因者の責任が問われる時代ですので、イベント会場での火気の使用については、ルールを守って事故を未然に防止し、万一事故が発生してしまった場合でも被害を最小限に止めるために、ご協力をお願いいたします。